



DIAMOND CROSS

待ち望まれた市制施行

西宮北口聖書集会ニュースレター 2022年1月号



日本人にとって身近な神？

「この月はあなたがたの第一の月であり、一年の最初の月である。」

- 出エジプト記 12章2節 -

この月がイスラエルの国にとって1年の最初の月になります。この月とは、ユダヤ暦の「アビブの月」のことです。バビロン捕囚以降は、この月は「ニサンの月」と呼ばれるようになります。「アビブの月」も「ニサンの月」も、同じ月のことです。現代の暦では、3月か4月になります。なぜこの月が年の最初の月となるのでしょうか。

平成27(2015)年は市制施行90周年にあたります。大正14(1925)年4月1日、西宮町は西宮市となりました。

それは、この月がイスラエルの国の始まりとなるからです。彼らは長い間エジプトに捕らえられており、自分たちの国がありませんでした。しかし、主はそこからご自分の民を解放し、約束の地へと導かれます。その最初の月がこの月なのです。ですから、ここから始めなければなりません。

市制施行のこの日、西宮神社周辺は多くの人で賑わいました。

(大正14年の撮影)

ところで、日本の正月の起源はイスラエルの「過越祭」という説があります。過越祭は、エジプトで奴隷にされていたイスラエル人(後のユダヤ人)たちが、神から遣わされた指導者モーセに率いられて脱出したことを記念する祭。この時食されるのが【種を入れないパン】です。このパンはパン種(イースト)を入れずに焼くことで、エジプトを脱出する際、急いでいたために生地を発酵させている暇がなく、種なしパンしか食糧として用意できなかった出来事を表しています。

◆ 日曜聖書集会にぜひご来会ください。

聖書集会 毎週日曜日 朝 10:15

プログラム：賛美歌、バイブル・レクチャー

聴講無料 (但し、自由献金あり)

場所アクト西宮東館6階

(阪急西宮北口駅、コープの上6Fです)

地図は下記をご覧ください

ホームページ “GOD BLESS YOU”

<http://nishikita-bible-fellowship.jimdo.com/>

詳しいこと、お問合せ先

TEL 0798-64-8150

MAIL nbc4169@gmail.com

一方、稲作文化圏である我が国で、パンの代わりに米で同じようなものを作るとしたら餅が相当しますが、種なしパンのことをヘブライ語で「マツツア」、複数形で「モチ」といいます。また、日本では餅を重ねて「鏡餅」が供えられますが、過越祭でもマツツアは重ねて食卓に供されます。実は、二つの国の文化を比較すると多くの類似点があり、意外に聖書の神は、日本人にとって身近な神なのかもしれません。



👤 講師紹介

主任牧師：菅原義久 1968年生まれ、北海道出身。

関西単立バプテスト神学校聖書神学科卒業、

ロング・ライフ苦楽園 芦屋別邸/ロング・ライフ靄公園(高齢者ホーム)チャプレン

さくら FM 78.7MHz【ゴスペルのちから】(土曜午後11時30分) メッセンジャー

FM aiai 82.0MHz【アマガミサミット】(第三水曜午後5時25分～) コメンテーター

牧師：亀井俊博 1942年生まれ、香川県出身。

元西宮市内高校教師 芦屋福音教会名誉牧師

A B C 福音の光ラジオ牧師 C G N T V テレビ牧師

正教師：菅原早樹 関西単立バプテスト神学校聖書キリスト教音楽科卒業

伝道賛美家、落語家 故・露の五郎兵衛師匠の次女